

俳人協会埼玉県支部

三十周年記念色紙短冊展

平成三十年五月二日（水）

～五日（土）

桶川市民ホール・ギャラリー
俳人協会埼玉県支部 主催

【出品目録】

「物故者」

- | | | |
|-----------|-----------------|------|
| 磯貝碧蹄館（握手） | 蛍烏賊天の縞索點り初む | （色紙） |
| 磯貝碧蹄館（握手） | 胎児は海から父母と二月の巖の色 | （短冊） |
| 老川敏彦（昴） | 無量劫露無限なる園あかるし | （色紙） |
| 老川敏彦（昴） | 潔癖の目をみはりゐる夏帽子 | （色紙） |
| 岡田壮三（あかね） | 水温む光の中の鳥けもの | （色紙） |
| 岡田壮三（あかね） | 朴落葉人にも旬のありにけり | （色紙） |
| 小川原嘘帥（曲水） | 夜の底に睡り忘れて水中花 | （短冊） |
| 小川原嘘帥（曲水） | 鬼の子の透明となる花野かな | （短冊） |
| 小澤克己（遠嶺） | 高空に水ある如し青鷹 | （色紙） |
| 小澤克己（遠嶺） | 嬰生まるはるか銀河の端蹴つて | （短冊） |

千代田葛彦 (旅人木)

秋しのびよる金箔をおくごとく

(色紙)

千代田葛彦 (旅人木)

川の底にも寒柝を打ち通る

(色紙)

千代田葛彦 (旅人木)

落日の火の粉となりぬ稻雀

(短冊)

奈良文夫 (群星)

甲板に寝て銀漢を胸の上

(色紙)

奈良文夫 (群星)

父の影踏めるおもひに春の山

(短冊)

成瀬櫻桃子 (春燈)

人をまつたのしきの雪舞ふことよ

(色紙)

成瀬櫻桃子 (春燈)

十六夜や海の底より平家琵琶

(扇面)

林 昌華 (練雲雀)

麗や兔が使者のピラミッド

(短冊)

林 昌華 (練雲雀)

初菊や拈華微笑の香を今に

(短冊)

林 昌華 (練雲雀)

両眼を得て福だるま流る流る

(短冊)

肥田埜勝美 (阿吽)

薪能暗きを川と見て泣くも

(色紙)

肥田埜勝美 (阿吽)

牡丹園風立ちて母浮く如し

(短冊)

前野雅生 (ぬかご)

身に入むやいつか背に借る床柱

(色紙)

前野雅生 (ぬかご)

地下鉄を上がれば神田祭かな

(短冊)

松本 旭 (橘)

葡萄食む耶蘇の復活信じては (額・関根将雄画)

松本 旭 (橘)

父母に桑の実ひとつづつ渡す

(団扇)

「現 役」

稲田眸子 (少年)

初風呂や花束のごと吾子を抱き

(色紙)

稲田眸子 (少年)

少年の目も蜻蛉の目も動く

(色紙)

岩淵喜代子 (ににん)

逢ひたくて螢袋に灯をともし

(色紙)

岡田日郎 (山火)

辛夷咲き会津に白き山いくつ

(色紙)

落合水尾 (浮野)

日本が大きくなつて祭来る

(色紙)

加藤三辰 (句友)

仰け反りて月に亡者の踊りかな

(色紙)

川口 襄 (爽樹)

小春日を潮騒とみる妻とみる (色紙)

菅野孝夫 (野火)

働ける人は畑に山桜 (色紙)

栗原憲司 (蘭)

山中に寝て雉子を食ふ夢見たり (短冊)

栗原憲司 (蘭)

熟柿といふはらわたの如きもの (短冊)

小山徳夫 (爽樹)

一鳥の青き閃光瀧しぶき (色紙・南泉書)

佐々木建成 (天穹)

灯火親し活字の詰まる二段組 (短冊)

佐怒賀直美 (橘)

麦笛を吹く旭日の真向かひに (色紙)

塩川京子 (阿吽)

朝顔の紺より今日の始まりぬ (短冊)

杉 良介 (狩)

春愁や血統書つき檻の犬 (短冊)

鈴木すぐる (雨蛙)

燈台を引張つてゐる鯉のぼり (色紙)

高松文月 (白鳥)

月光に触れて鳴り出すオルゴール (色紙)

高松守信 (昂)

鳴き砂の銀色世界櫻貝 (色紙)

田口 登 (すみれ)

歌垣の山の烟れる野焼かな

(短冊)

竹内弥太郎 (あかね)

凍蝶のいのち吹かるる風柔し

(色紙)

根岸善雄 (馬酔木)

夕雁のひと声に湖繋りけり

(色紙)

根岸善雄 (馬酔木)

落葉松の空の薄墨しぐれけり

(短冊)

深見けん二 (花鳥来)

人はみななにかにはげみ初桜

(色紙)

深見けん二 (花鳥来)

涌き水のくらしくらしと五月闇

(短冊)

松浦加古 (蘭)

緑陰を出て新しき影と行く

(短冊)

松本 進 (野火)

啓蟄や三つたまりし虫眼鏡

(色紙)

横澤放川 (森の座)

新樹光坂があがつて来いといふ

(色紙)

吉川禮子 (句友)

雲千切る力を持てり風五月

(短冊)

吉田武峰 (草萌)

ドーナツの穴をくぐりて夏来る

(短冊)